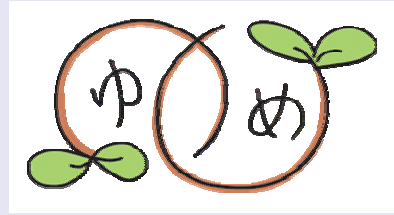


秋号
2005.11.22.Tue
No.2

地域づくり考房『ゆめ』

ゆめ通信



“ゆめ”の由来…結芽「ニーズの芽を結ぶ場所」+ 夢 + 遊眼「遊び心の視点を持つ眼」



松本大学

第39回梓乃森祭



芳川ハイビスカスの皆さんと学生によるフラダンスのステージ
～笑顔がステキです～

輪と和 創造と想像の空間 ～地域づくり考房『ゆめ』ひろば～

Topics

去る10月15日(土)16日(日)に、松本大学梓乃森祭が盛大に行われました。地域づくり考房『ゆめ』では、日頃の活動の成果を多くの皆様に知っていただき、さらなる活動展開に向け、“地域づくり考房『ゆめ』ひろば”を地域の方々とともに催しました。

「プレゼンテーションによる活動報告会」「展示・販売コーナー」「ステージ発表」「体験教室」「休憩処」と多彩な催し物で、様々なプロジェクトの学生や一緒に関わる地域の皆様方の創意と工夫で楽しいひろばとなりました。そこには、多くの学生の他、幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の方々が訪れ、新たな出会いと交流の場となり、さらに輪が広がりました。

また、大学祭をきっかけに学生発の「サッカー普及プロジェクト」も立ち上がりました。

現在、学生と一緒に地域づくりを進めたいという地域の要望は多大で、地域のニーズや学生のニーズによりいくつかのプロジェクトが生まれてきています。

今後も地域の方々とのよりよいパートナーシップを築きながら、学生と地域の皆さんとの双方向型の事業展開を推進してまいります。

(地域づくりプランナー 福島明美)

特集 第39回梓乃森祭
地域づくり考房『ゆめ』ひろば
を紹介

考房プロジェクト活動紹介
(P1～P2)

インフォメーション
～考房内外
各種イベントやスタッフ募集の
お知らせです～

松本探訪
～ペロタクシーから見た街～

編集後記

活動報告会

地域づくり考房『ゆめ』の活動で地域に関わった学生が活動報告を行いました

参加プロジェクト

ものぐさパソコン教室・プロジェクトY・巾上西町会まちづくり・ユニバーサルデザイン・野菜マップ作成・一本ねぎ

～見に来てくださった方からの声です～



活動報告をする学生たち



自分では発想や考え方はまだまだ若いぞなんて強がりを行っているのだが、いざ若い学生さんの中に入ると違和感で身の置き所がない心地がし、世代が違い、価値観も違い考え方のギャップを実感し、老いを再認識して帰るのが落ちかな位の気持ちで発表を聞き始めたのですが、いやいや話が進むうちに、おや俺の感性も捨てたものじゃないな、若い彼らの洞察力と考えに波長があっているじゃないか、だんだん嬉しくなり、そのうちに感動に変わり自分も若さを取り戻した気さえいたしました。

現実を冷静に見つめ、問題点を確実にとらえ、的を得た提言がたくさんあったと思います。

アウトサイダーとして誰もが認知する学生時代だからこそ、世の中を外側から客観的に見える唯一の時だと考えます。今皆様方一人ひとりが持っているその素晴らしい感性と旺盛な行動力で、ぜひ私たちの町づくりに大いなるご理解とご協力をこれからもよろしくお願い致します。

(巾上西町会 筒井敏男)

展示コーナー

地域づくり考房『ゆめ』で行われている各プロジェクトの活動を展示しました

参加プロジェクト

ベロタクシー・災害ボランティア・プロジェクトY・柿プロジェクト・着付け教室・ウィメンズサポート・豊科町のまちづくり・巾上西町会まちづくり・シニアネット・松本市タウンマップ・野菜マップ作成・一本ねぎ・むかご

～見に来てくださった方からの声です～



私達J A松本市女性部は松本一本ねぎの復興普及活動を松本大学の皆さんと一緒にしてきました。これまで梓乃森祭にもフラダンスや歌のグループが参加してきましたが、今年は都合で不参加となり残念に思います。

女性部を代表して梓乃森祭に出かけ、野菜まんじゅうの販売を少しお手伝いさせていただきましたが、その時地域づくり考房『ゆめ』の展示をみせていただき、学生の皆さんの幅広い活動に大変感心致しました。学内の机上の学習のみでなく、広く地域住民との交流のなかで様々な体験を通しての学習は、いずれ卒業し社会に巣立つ皆さんにとって何よりも貴重な勉強になると思います。社会人としての大切なルールも自然に身につくのではないのでしょうか。これからの活動に更に期待します。

そして松本一本ねぎもどうぞよろしくお願いいたします。

(J A松本市女性部 鎌倉むつ子)



～各プロジェクトの展示物～

販売コーナー

お店、施設、グループなど、地域の方々と一緒に商品企画、製品作り、販売を行いました

販売物

松本一本ねぎ（野菜まんじゅう、おにぎり、ねぎ味噌）・むかご・コムハウスの自家製品（シクラメン他）・手づくりパン

～ 参画して下さった地域の方からの声です～

こんにちは！「キッチンこすもす」です。皆様のご協力をいただき、今年も学園祭に参加させていただけた事とても嬉しく思っております。昨年の秋、いっぼんのねぎからスタートした人と人とのふれあい、そこから派生する小さな「輪」が思いがけずに大きな広がりを見せ少しずつ成長してきたようです。

今回の参加は、その成長過程でふれあった人々のご協力を戴き、いろんな体験会を企画してみました。

メインは、一本ねぎの製品の販売です。今回は学生さんも一緒に仕込みから製造、販売まで全部を手がけ、とてもいい経験が出来たのでは？と思っています。あわせて「いっぼんくん」のキャラクターTシャツの制作。そのTシャツを着ての「フラダンス」への参加。学生達の踊りはともかく会場を盛り上げてくれた事は確かです。これは久々のヒットでは・・・と白戸先生のお言葉。ご協力いただいた芳川ハイビスカスの皆様に感謝。町内のこすもす会の皆さんによる手芸講習会で、かわいいモヘア糸でねこちゃんを作りました。とても好評ですっかり気を良くいたしました。男子学生の器用さに驚かされる一面も。一日しか出来ませんでしたが30人以上の受講者がありました。

今年の参加はちょっと欲張りすぎたかなと反省しています。計画段階から福島先生をはじめ学生の皆様のご協力なくしてはとても実現出来なかった企画でした。本当に楽しませていただきありがとうございました。（キッチンこすもす 上條容子）



一本ねぎまんじゅう他



手づくりパン

ステージ発表

地域の方や他大学学生と一緒にステージ発表しました

発表プロジェクト

松風連による和太鼓演奏・芳川ハイビスカスによるフラダンス・新村地区のおばちゃんと学生による踊り



新村地区のおばちゃんと学生が踊った「新村音頭」

～ 関わった学生からの声です～

「はじけた！」「何かがはじけた！」
あのステージ発表を言葉で表すならまさにそんな感じです。僕は、フラダンスと新村音頭の発表に参加させていただきました。どちらも地域の方たちの練習の段階からの参加でした。さらにフラダンスは担当責任者でした。15日のフラダンスの発表では、僕はフラダンスの説明までしました。ステージの上にあがって、フラダンスの説明・・・恥ずかしかった！でも、フラダンスをやって「かなりノッてるなぁ」というのが正直な感想です。16日は「新村音頭」の発表でステージに上がりました。そのとき！何かがはじけました。ノッてます！ノッてます！！ノリまくってます！！「新村音頭」の次の「炭坑節」では、ステージ上で「掘って、掘って、また掘って、担いで、担いで、後ずさり、押して、押して、開いて、チョチョンがチョン」と歌いながら踊ってしまうほどでした。

とても楽しい体験でした。来年はさらに大勢を誘って・・・「はじけてやるぞお！！！」
（松本大学総合経営学部1年 宮崎甫）



～ 松風連による和太鼓演奏～

サッカー体験・試合

サッカー好きの学生が集まって企画しました



企画プロジェクト

少年少女サッカー大会・キッズサッカースクール
(小学生試合) (4~6歳対象)

~ 企画した学生からの声です ~

10月15日・16日の大学祭でキッズサッカー
スクールと松本大学少年少女サッカー大会を
開催しました。キッズサッカースクールでは、
15人の子供たちにサッカーの楽しさ、体を動
かす楽しさを体験してもらいました。

松本大学少年少女サッカー大会では4チーム
が大会に参加し、楽しい大会になりました。大
学祭の2日間でたくさんの子供たちの笑顔を見る
ことができとても良い経験になりました。この企画は、
初めてということもあり、わからないことだらけ
でしたが、自分たちにとっては大きなものになり
ました。サッカー普及プロジェクトは、今後も続
けて活動していく予定です。

(松本大学総合経営学部2年 林孝行)



15日・少年少女サッカー大会



学生スタッフ



16日・キッズサッカースクール

体験コーナー

プロジェクトの学生や地域の方による企画に、幼児からお年寄りの方々が体験されました

参加プロジェクト

パソコン教室・着付け・フラダンス・ベロタクシー・和太鼓・
キッズサッカー教室・手づくり小物(毛糸の猫、タオルドレス、ようじ入れ)・コーチング

~ 体験した方々からの声です ~

着付け

日本人でも滅多に着ない浴衣を、夏のむんむんとした熱
気はないが、人の熱気で活気付いている祭りの一室で
浴衣を着せていただきました。松本地域に住んでいる数名の外国人
と一緒に体験したのだが、周りが「きれい・・・」で見とれたのと相反する
自分の姿に(涙)。それでも、みんなと同じ浴衣姿で写真を撮られてい
い思い出になった。(学生)

ベロタクシー

ベロタクシーに乗り、
10月ということもあり心地よい風に吹かれなが
らとても気持ちよかったです。運転手との会
話を楽しめたり、ゆっくりと景色が見られたりする
のも魅力でした。また利用してみたいと感じまし
た。(学生)

和太鼓

松本大学の文化祭に行っ
て松風連の太鼓を見ました。みん
なとても上手でびっくりしました。あと体
験コーナーでばくも教えてもらいまし
た。藤森先生の教え方はとてもわかり
やすかったので時々梓川太鼓十八会
にも教えにきてほしいです。
(小学生)

コーチング

「あなたのストレス度は」という印象に残るサブテーマ
に興味を惹かれて受けてみようと思いました。セルフチェックでは、自分の悩
みを聞いてくれると同時に、今後の方向性を自分で導き出す為に担当者の
横沢さんが話を整理し続けてくれました。自分の良さを知ることができ、次の
ステップにつなげようとする意識が高まりました。セルフチェックは、自分の歩
む道発見に繋がると思うので、一度試してみる価値はあります。(学生)



~ かわいい毛糸の猫 ~

サッカー

今年年中児の息子に遊び感覚でサッカーを体験して欲しく
てお友達数人と参加しました。正直「やらないだろうなぁ」と思っ
ていたのですが息子がみんなと一緒に走ったりボールを触っている姿を見
ることができて嬉しかったです。後日保育園で息子もお友達も「サッカー
やったよね」と喜んで話していました。(一般)

考房プロジェクト (パート2)

活動紹介

前回に引き続き地域づくり考房『ゆめ』で行われているプロジェクトを紹介します



記事の読み方

事業・プロジェクト名 事業概要

地域づくり考房『ゆめ』で、事業に関わっている学生の方に4つの質問をしました。記事では質問が省略されています。質問は以下のとおりです。

この事業・プロジェクトに出会ったきっかけは？
事業をしている中で最もインパクト（衝撃）を受けたことは？
今後どうしていきたいですか？
あなたにとってこの事業・プロジェクトは何ですか？

なお「インタビューからのコメント」となっています。

松本市街地タウンマップ 松本市街地を探索しガイドブックを作成する



街を散策調査中・・・

アウト
キャンパスで
上土町、中町
などを歩いて
きました。その
後にゼミで感
想を話し合う
うちに、「街に
貢献したい」「
市民の人達や
観光客

にもっと街を歩いてもらえたらいいなあ」と思って・・・自分達でタウンマップを作ったら市民の人達に歩いてもらえるんじゃないかと思いました。

夏休み中に自分達は松本駅から松本城まで歩きました。街としては本町、高砂、中町、縄手、松本城付近を歩きました。印象に残ったのは松本の街は道が細かったり一方通行が多かったりして車だと行きづらい。しかし、歩いてみるといろんな街並みが見えておもしろかったです。住んでる人にとっては何でもないことが、歩いてみるとこうした方がいいというところに気付いたりします。もっと住民はそういった“街の宝物”に気付いてアピールした方がいいと感じました。

目標は、観光客や市民に馴染みやすいタウンマップを作りたいですね。成功させる上でIT関連グループと情報収集グループと調査グループを作っています。今その中で動こうとしているのはIT関連グループ。ホームページを立ち上げて他のグループのデータを基に松本や観光客のみんなにこんなものがある・・・みたいな1つのカテゴリを作りたい。松本市と連携して商工会議所のふらっとプラザとうまく提携を結んでいけたらいいなあと思っています。

「夢」ですかねえ。

インタビューのお相手:水谷通章さん(総合経営学部3年)

和太鼓

和太鼓を通して年齢男女問わず、
地域の方々と一緒に松本市を中心に活気を起こしていく

小学5年生の頃から下諏訪で太鼓の保存会に入って和太鼓をやっていました。中学、高校とサークルでやってきましたので、大学でもできればと思いました。あと地域と関わりながら、地域の人を巻き込んで始めたいと思いました。

なぜ地域の人を巻き込んでやりたかったのですか？

学生だけだと活動範囲が決まってしまうと思って。学生だけで練習して見てもらうよりは、地域の方々と一緒に練習して一緒に達成感を味わいたいと思いました。

インパクトがああ・・・難しいなあ・・・。練習期間が1ヶ月もなかったんだけど週1回の練習で曲を覚えて文化祭に発表できたのはすごかったなあ。あと梓川の十八会の方々と競演できたのがうれしかったなあ。

梓川の十八会の方々と一緒にやることあるんですか？

太鼓の保存会の関係で教えに行ってる場所だったので、今回文化祭でお願いしました。十八会は逆に10代後半とか20代の人がいないので一緒にできれば・・・と思いました。

今年はまだ大学内のメンバーが少なくても声もあまりかけてないんですよ。ボランティア活動などして見てもらって、仲間作りをしていきたいですね。名前が“松風連”なんで、松本市を中心に新しい風を起こせるような事業にしていきたいです。今メンバーは何人くらいですか？

全部で8人で男の人が1人です。年配の人には受けがいいんですけどね(笑)

和太鼓とは『心・技・体』を極めるもの

インタビューのお相手:藤森未希さん(総合経営学部2年)



～松本短大文化祭にて～

野菜マップ

松本市で栽培されている野菜を調査し、レシピや市場情報を入れたオリジナルマップの作成

キッチンこすもすの上條さんがオーナーでいるんですけどその人に野菜マップを作ってみないかと言われたのがきっかけです。

最初聞いたときどうでしたか？

はじめは興味がなかったけれど、キッチンこすもすで地元の野菜を使用していて、それを見て地元の野菜を調べてみようと思いました。

実際に野菜マップを作る上で、農家の人を訪ねて話を聞いたんですけど、その農家の方々が野菜にこだわりを持っていることとか、その野菜を使った料理がすごくおいしかったことですかね。

例えばどんな料理がありましたか？

一本ねぎを使った薄焼きとねぎ味噌をセットにして食べたり、ねぎを入れて作ったスクランブルエッグとかすごくおいしかった。セロリのぬか漬けも初めて食べておいしかったです。できるだけ農薬を使わないで作ったものなのですごくおいしかったです。

まだ調査中なので調査を終わらせてから野菜マップを作っていきたいです。どこに何があるというだけのマップではなくて、料理のレシピを加えたようなマップにしていきたいですね。食育をやっている方とか学校とかで使っていただければいいですね。マップを活用してもらえればうれしいですね。

将来の自分とか仕事に役立てるんじゃないかな。いろいろな経験をできればいいな。

インタビューのお相手: 島崎真代さん(総合経営学部2年)



農家の方と一緒に...



セロリのぬか漬け

ユニバーサルデザイン - 福祉の視点から松本市を考える -



お店にてアンケート中...

ゼミでタウンマップを作る計画を練っていて...それと社会活動の授業が重なって別々で考えていたものがびねっと21と知り合って見方が変わったんですよ。

びねっと21とは？

松本市障害者自立支援センターです。最初は単位を取れば良いと思ってただついて行って意見を聞いているだけだったけど、やってみて、松本市は「健常者だけが来る観光都市なの?」「障害を持っている人は来てはいけないの?」と疑問を感じ、障害、国籍、年齢、性別等関係なくすべての人が安心して生活するためのUD(ユニバーサルデザイン)の考えに興味を持ちました。

障害者の方と一緒に実際にお店に入ってアンケートをとったんですが、正直簡単に出来ると思っていたのが、営業時間中に来店したので時間をとってもらうのが難しかったです。

どのくらいの割合でアンケートに協力してもらえましたか？

10件回るんですけど、だいたい6件くらいの店舗に協力してもらいました。自分としては全部の店舗に協力してもらえと思っていたので結構へこみました。

大学で作ってるパンフは卒業するまでにはある程度カタチにしたいですね。その一部になれば...

この事業で自分自身を違った視点から見ることができて、ほんと勉強になりました。群馬から来て一から作った出会いです。事業自体は終わるかもしれないけれど、これからもその出会いを大切にしたいです。自分になかったものがどんどん成長しているのがわかるし、これからも力になると思うので最後までやっていこうと思います。

自分にとって真の大学生活を謳歌するもの

インタビューのお相手: 山口貴弘さん(総合経営学部3年)

サッカー普及プロジェクト

サッカーを通して学生と子供たちが交流し、学生は子供たちから様々なことを学び、子供たちにサッカーの楽しさを体験してもらう

先輩と話をして... (文化祭のサッカー企画に)キッズは最初はなかったんですよ。少年少女サッカー大会をメインにしてたんで。土曜日に時間があったのでキッズ専門で検討したのがはじまりです。文化祭で何かやりたいと思いました。

今回は何人くらい集まりましたか？

15人集まりました。

おもしろい。思ったより企画自体がおもしろくてよかった。もともと教えていたこともあったし...

個人としては月1回キッズをこういう“体験”という形でやっていってそのうち週1回とかで月謝をもらってそれを運営にまわしたいです。それでいずれは大会とかをやっていききたいです。キッズのカテゴリでやってるとこは少ないし、そういう指導者も少ないから、大学でやっていききたいです。

園児対象は難しいですか？

難しい...。技術的なことだけでなく難しい。集中力がないから間の取り方とか根本的に子どもに対しての接し方とか全体的に難しい。でもやって楽しい。アンケートをとったりしてメニューを決めたりしたいです。

スポーツ医学とか栄養とかの話を聞いて勉強して、いいものを作っていききたい。これだけで終わるのでなくて跡を継いでいってほしいです。

生活の一部

インタビューのお相手: 林 孝行さん(総合経営学部2年)



キッズサッカースクールにて

今回は5事業の活動を紹介しました。今もたくさんの事業が芽を出しています。皆さんの想いを、地域づくり考房『ゆめ』はサポートしていきます。



松本大学キッズサッカースクール

目的 子供の発育、発達を目的として、サッカーの正しい基本技術を習得し、合わせてサッカーの楽しさを体験していただく

[参加者募集対象] 健康な4～6歳の男女

(幼稚園児・保育園児の年中・年長)

内容 子供の発育、発達を考慮したボール遊び・サッカーゲームを中心にサッカーの正しい基本技術を楽しむ習得していただく

日時 11月26日(土) 10:00～12:00

場所 松本大学多目的グラウンド

実施主体 松本大学キッズサッカースクール

その他 定員30名(先着順) 参加費無料

[スタッフ募集対象] サッカー、子供好きな人

内容 サッカースクール企画、運営、実施

ものぐさパソコンスタッフ募集

目的 初心者向けパソコン講座の運営

対象 松本大学の学生

内容 パソコン教室の企画、運営

日時 毎週火曜日 13:30～14:15頃(経営会議)

場所 松本大学地域づくり考房『ゆめ』

実施主体 松本大学ものぐさパソコン教室

その他 運営次第で賃金が出ます

地域づくりにかかわる コーディネーターサロン開催

～地域づくりのキーパーソンそれはコーディネーターです～

目的 わたしたちの暮らす地域を元気にしよう!

対象 社協、施設、病院、企業、学校、福祉ひろば、商工会議所、JA、生協、自治会(町内会)、NPO、ボランティアグループなどでコーディネーションに関わっている方

内容 地域づくり考房『ゆめ』活動紹介

情報交換会

コーディネーターの役割とは?

日時 12月8日(木) 10:00～15:30

場所 松本大学地域づくり考房『ゆめ』

実施主体 松本大学地域づくり考房『ゆめ』

ボランティア・市民活動研究会ながの

参加費 500円

(別途、昼食は学食にて各自お好みにより実費)

申込み 12月5日(月)までに松本大学地域づくり考房『ゆめ』へ

メール・FAX等で申し込む

辻幹雄ギターリサイタル クリスマス・コンサート

目的 療育センターらいい運営資金支援事業

内容 国内では数少ない11弦ギターの弾き手である辻幹雄さんのギターリサイタルの鑑賞

日時 12月17日(土) 開場・17:00 開演・17:30

場所 療育センターらいい カルチャーハウス鉢盛

実施主体 松本大学 地域交流サークル

その他 入場料:2000円(前売券)

コンサートの収益金の一部は、療育センターらいいに

寄付されます。前売券の申込みは「療育センターらいい

(TEL 0263-59-2955)」まで

桔梗ヶ原キュイジーヌ創出のための異業種交流ディスカッション

目的 味覚と文化の観光地づくり事業(地域資源を活用した産業活性化推進事業)の一環として桔梗ヶ原ワインを軸とした新

しい地域独自の食の魅力(桔梗ヶ原キュイジーヌ:仮称)の創出のため、関連する異業・異文化から出席者を参集し、意見交換・情報交換を行う

内容 地元食材を使ったフランス料理と地元ワインの実食・試飲を核にフリー・ディスカッションを行う

日時 11月24日(木) 10:00～正午まで

場所 (株)林農園(五一ワイン):長野県塩尻市宗賀1298-170

実施主体 松本地方事務所商工雇用課

ユーザー目線によるものづくりセミナー

～誰もが使いやすいデザイン開発を目指して～

目的 日本の高齢者(65歳以上)比率は、2015年には25%に達すると予想されています。視力、聴力、身体能力の衰えなどの加齢障害をサポートする分野に大きなビジネスチャンスが生まれています。「誰もが使いやすい」というユニバーサルデザインの視点を取り入れた新商品開発や経営革新のためのセミナーを開催します

対象者 ユニバーサルデザインに関心のある人

内容 講演・テーマ「ユニバーサルデザインのガイドライン」、「セイコーエプソンのUDガイドライン」、ユニバーサルデザイン開発演習

日時 12月 7日(水) 13:00～17:00

場所 松本市美術館1階「市民アトリエ・講座室」

実施主体 長野県、長野県ユーザー目線研究所

北村卓の生活をサポートしていただけませんか?

(ボランティア募集)

目的 車椅子生活者の自立支援のための介助ボランティア募集

内容 調理・外出(買物など)の介助、洗濯物の整理などの家庭的援助とトイレの介助、車椅子からベットへの移動などの身体的な介助

日時 1ヶ月に都合の良い日で1回か2回程度

平日休日共に2交代制です

場所 松本市内の県営・市営住宅(現在探し中)

その他 交通費はこちらで負担します

美咲 天空祭(全5回)

目的 美咲・天空祭では毎回、新曲を披露。現代と伝統が溶け合う美咲Live & 交流会

内容 シンガーソングライター美咲のLive鑑賞とお菓子とお茶をいただくながら交流会

日時 12月10日(土)、1月 3日(火)、2月 4日(土)、

3月 21日(水) いずれも14:00～15:30

場所 長野県松本市 四柱神社内「神道庵」

実施主体 美咲

参加費 1500円(お菓子とお茶付き)

備えあれば憂いなし 災害ボランティア講座開催

目的 いつ起こるかかわからない災害に対し、どのように備え、何ができるのか。また、全国から集まる災害ボランティアのマンパワーをいかに活かして被災者支援活動を行っていくかについて、みんなで知恵を出し合います

対象 防災に関心のある人

内容 講演・体験談「誰にだって、できることは必ずある!」講師・川上哲也(NPO法人Vネットぎふ)

日時 12月11日(日) 13:00～16:30

場所 塩尻市保健福祉センター3階 市民交流室

実施主体 塩尻市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 0263-52-2795

地域づくり学生チャレンジ奨励制度

松本大学生によるプロジェクト募集!!

松本大学は、本学学生の社会参加への第一歩となり、社会をより良くしていこうとするリーダーシップの芽生えとなる活動を支援します。楽しみながら自らも成長し、地域も活性化し、社会貢献につながる、学生による地域づくりの活動を募集し、選考の上助成を行います。

募集要項

応募資格

自らの意志によって、社会をより良くしていこうというSpiritとPlanを持ち、それを着実に実行することができる松本大学の大学生個人あるいはグループによる活動を対象とします。

1. 松本大学生が中心となって行う活動
2. 団体の設立主旨や活動内容が特定の政治・宗教・営利の目的に偏っていないこと
3. 他からの助成を受けていないこと
4. アドバイザーとして、専任の教員を依頼すること

助成金額

1グループ上限5万円

助成金額の加減については、エントリー用紙に記入された助成金の使用計画から適宜判断します。
2006年1月上旬に助成金を支払います。

応募期間

2005年10月15日(土)～2005年11月30日(水)(必着)

応募方法

応募用紙のご請求及び記入後の応募用紙は松本大学地域づくり考房『ゆめ』へご請求・提出ください。
尚、応募の書類は返却いたしませんのでご了承ください。



松本探訪

～ベロタクシーから見た街～



ドライバーの佐々木くん

「ベロタクシー」

ベロタクシーのドライバーになって、七ヶ月ちょっとになります。この間、たくさんの人と関わることができました。いろんな人と関わっていくうちに、「もっとこうすれば、お客さんは喜んでくれたかもしれない」や、「松本城の勉強をもっとしておけばよかった」など、自分の課題がたくさん出てきます。一つ一つ課題をクリアしていく中で、自分自身少しずつですが、ドライバーらしくなっていると感じました。

また、運転しているうちに気付くことがたくさんあります。例えば、「こんな所にお店があったんだ!」や「パルコの通りは、たくさんの人が歩いていて、買物しているのに、松本城の近くには、どうして人があまりいないのか?」など気付きます。

それに、松本の街をベロタクシーを知ってもらうために、僕はあいさつをしています。みんながベロタクシーに興味をもってもらうために、これから精一杯がんばりたいと思いますし、自分をもっと磨きたいと思います。

ドライバー：佐々木康貴(松本大学総合経営学部3年)

これからも、ベロタクシーを走らせながら見える街並みや街の人々の様子、またベロタクシーの利用者さんとのやり取りのなかでの気づきなど運転手の目から捉えて、紹介していきたいと思っています。

～編集後記～



日々少しずつ寒さを増し、冬を間近に感じるようになりました。

先日学生たちが集まって、文化祭で各プロジェクトごとに展示発表した模造紙を地域づくり考房『ゆめ』の中と廊下の壁に貼っていました。今までなんだか少し殺風景だった壁が一気に鮮やかになり、以前よりも温か味が感じられるようになりました。

この「ゆめ通信」も無事第2号を発行することができました。ご協力いただいた皆様ほんとうにありがとうございました。(根来)

インフォメーションへの問い合わせ「ゆめ通信」へのご意見・質問など、すべて下記へお願い致します。



編集・発行：松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel: 0263-48-7213 (直通) 0263-48-7200 (代表)

Fax: 0263-48-7290

E-mail: community@matsu.ac.jp